

## 2022年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、2023年6月に「2022年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査」を実施しました。調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

### 調査結果サマリ

コロナ禍による生活様式の変化は、学生生活にも大きく影響を与えた。現在の大学2年生が、どのように大学生活を送り、進路についてどのように考えているのかを明らかにするため調査を実施した。

#### 【主な調査結果】

- 大学2年生現在、大学卒業後の進路として考えているものは、「民間企業に就職したい」が44.7%で最も高く、「公務員として就職したい」が26.2%と2番目に高い結果であった。「卒業後の進路を考えていなかった」は14.2%。
- 大学入学時から今までの大学生活の満足度は、大学生活全般では「満足・計」が66.2%であった。「学業」「大学内での課外活動」「大学外での趣味・プライベートの活動」については、それぞれ満足度が異なる様子もうかがえる。
- 卒業後働くことを意識しているかについて聞くと、「意識している」が43.5%、「どちらかという意識している」が41.8%と、「意識している・計」では8割を超える結果であった。
- 大学入学後に「キャリア」に関する授業を受けたことがあるか聞くと、55.7%が「受けたことがある」と答えた。
- 就職活動の開始想定時期では、「大学3年生4月」が22.7%で最も高い結果であった。「大学2年生3月以前」「大学4年生4月以降」「わからない」と答えた学生もそれぞれ約1割であった。
- 「就職」について考える際の情報取得先は、「親」が52.1%で最も高い。知りたいこととしては、「自分に向いている仕事はなにか」が52.2%で最も高く、「大学からの就職状況について」49.4%、「職業別の年収、生涯賃金など」43.3%と続く。
- 大学3年生以降のインターンシップ・1day仕事体験のような就業体験への参加意向は、「参加したい・計」が約7割であった。

■2022年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

調査目的：大学2年生の大学生活や価値観、将来イメージ等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2022年大学入学の大学2年生

調査期間：2023年6月8日～6月19日

調査回答数：1,053人

《調査結果を見る際の注意点》

- ・上記の調査結果をグラフに使用する場合、2022年入学と記載している記載のないものについては大学2年生調査を使用している
- ・集計値は小数点第2位で四捨五入しているため、項目間の計算値が表記されている項目の計算値と一致しない場合がある
- ・データは無回答サンプルを除いて集計している

■ 学校区分

(%)

全体	国立	公立	私立
n=1,053	24.3	6.8	68.9

■ 地域

(%)

全体	関東	中部	近畿	その他地域
n=1,053	37.3	14.9	22.4	25.4

■ 文理

(%)

全体	文系	理系
n=1,053	54.0	46.0

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

## 大学卒業後の志望進路

2022年入学の大学生に、大学入学時点での大学卒業後の進路として考えていたものを聞いたところ、「民間企業に就職したい」が38.7%と最も高く、次に「公務員として就職したい」が24.5%、「卒業後の進路を考えていなかった」は17.9%であった。また、大学2年生現在での大学卒業後の進路として考えているものでは、主に「民間企業に就職したい」と考えている学生の割合が増え、就職志望者(\*)の割合は74.7%であった。

### ■ 大学入学時、大学卒業後の進路として考えていたもの (全体/複数回答)

	(%)									
全体	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	卒業後の進路を考えていなかった	民間企業に就職したい	公務員として就職したい	教員として就職したい	医師・歯科医師・看護師として就職したい	上記3-5以外で民間企業ではない組織・団体に就職したい	起業したい	大学院等へ進学したい	留学したい	その他
n=1,053	17.9	38.7	24.5	8.7	8.0	8.8	4.7	12.4	3.3	2.1

### ■ 現在、大学卒業後の進路として考えているもの (全体/複数回答)

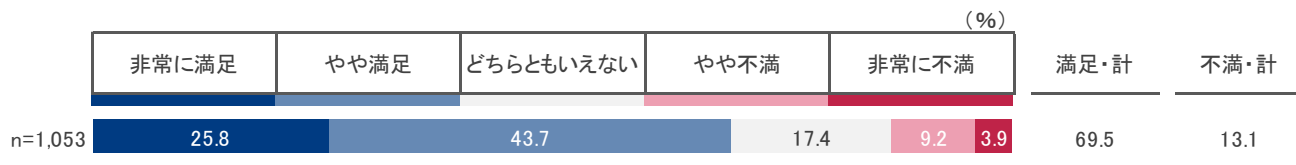
	(%)										
全体	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	卒業後の進路を考えていなかった	民間企業に就職したい	公務員として就職したい	教員として就職したい	医師・歯科医師・看護師として就職したい	上記3-5以外で民間企業ではない組織・団体に就職したい	起業したい	大学院等へ進学したい	留学したい	その他	就職志望者
n=1,053	14.2	44.7	26.2	8.4	8.2	10.0	6.3	12.2	2.9	2.4	74.7

※「現在、大学卒業後の進路として考えているもの」で、②～⑥のいずれかを選択した回答者を「就職志望者」として集計

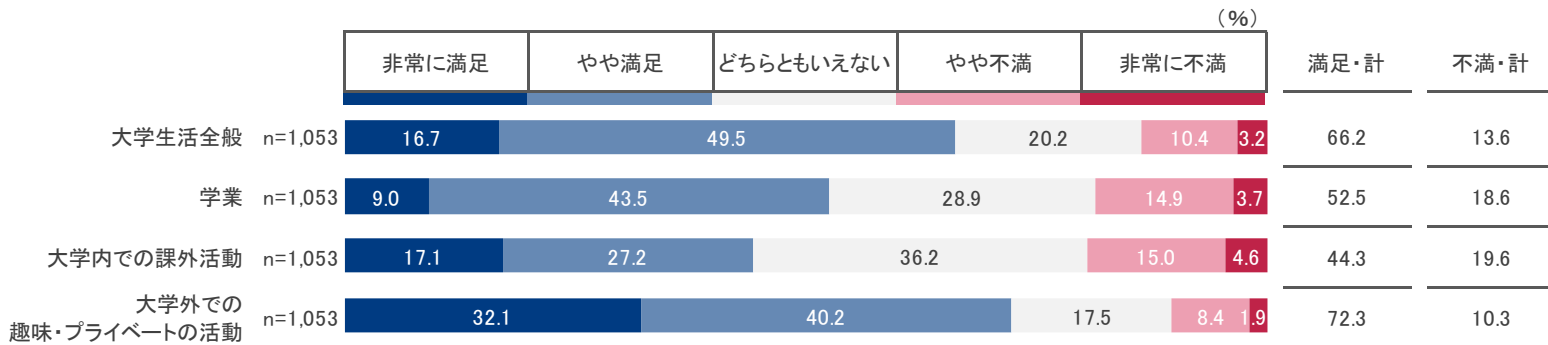
## 高校生活と大学生活の満足度

高校生活の満足度を聞くと、「非常に満足」「やや満足」を合わせた「満足・計」が69.5%であった。また、大学入学時から現在までの大学生活の満足度では、「大学生活全般」と高校生活の満足度を比べると「満足・計」は66.2%と同水準であるが、「非常に満足」の割合が低い。大学生活の満足度について「学業」「大学内での課外活動」「大学外での趣味・プライベートの活動」に分けて聞いたところ、それぞれ満足度が異なる様子が見て取れる。

### ■ 高校生活の満足度 (全体/単一回答)

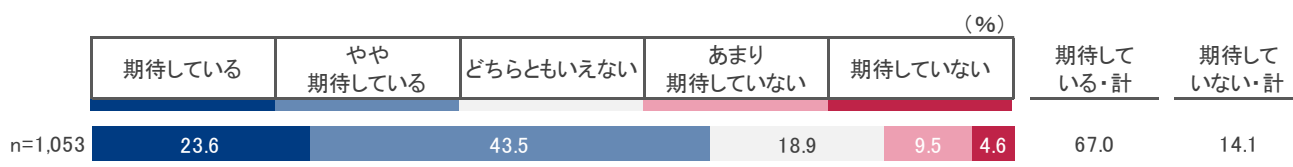


### ■ 大学入学時から今までの大学生活の満足度 (全体/単一回答)

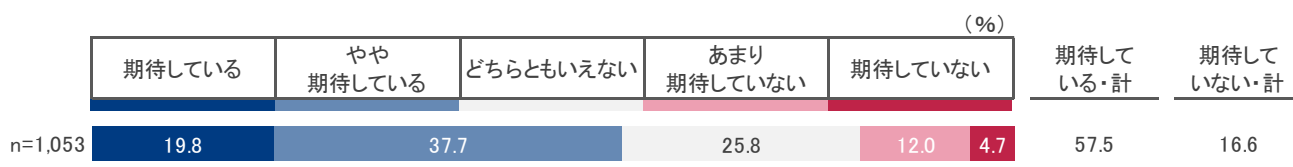


これからの大学生活への期待度を聞くと、「期待している・計」は67.0%であった。また、大学卒業後の進路への期待度では、「期待している・計」が57.5%であった。これからの大学生活の方が大学卒業後の進路よりも期待度が高い結果であった。卒業後働くことへの意識について聞くと、「意識している」が43.5%、「どちらかという意識している」が41.8%で、「意識している・計」が8割を超える結果であった。

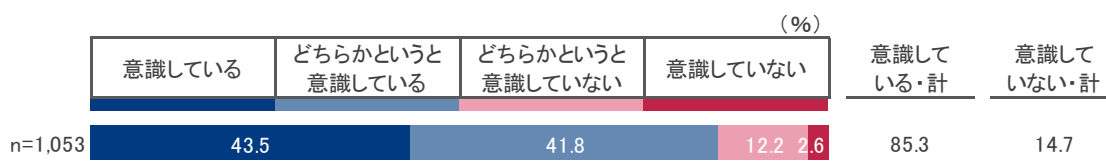
■ これからの大学生活への期待度 (全体／単一回答)



■ 大学卒業後の進路への期待度 (全体／単一回答)



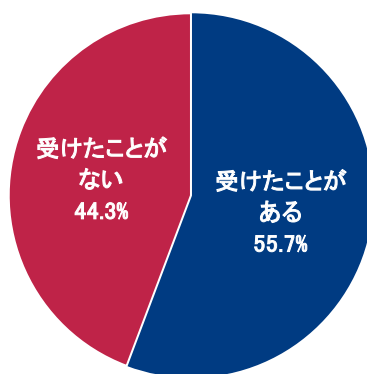
■ 卒業後働くことへの意識 (全体／単一回答)



## 「キャリア」に関する授業の受講経験／授業を受けて得たものや身についたと思うもの

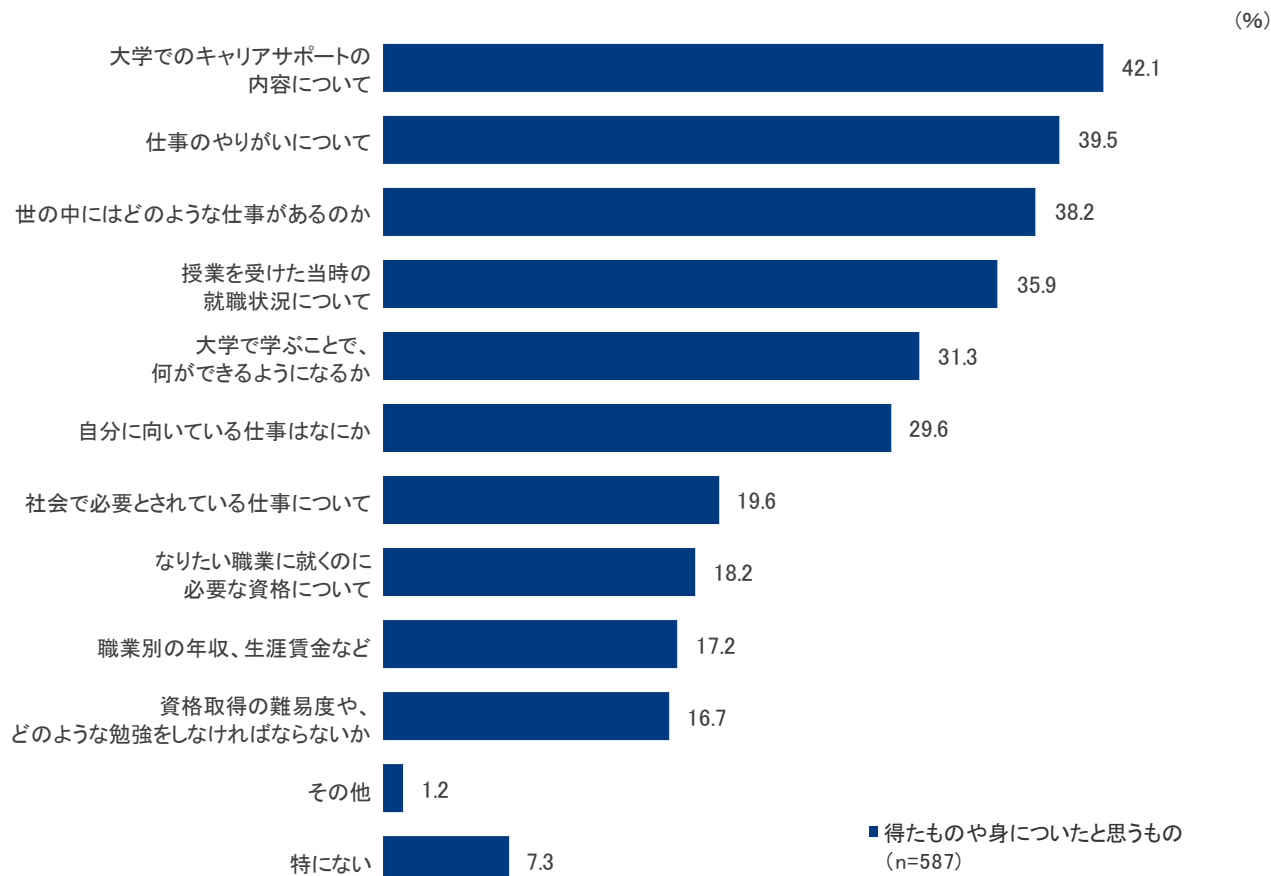
大学入学後に「キャリア」に関する授業の受講経験を聞いたところ、55.7%の学生が「受けたことがある」と回答した。また、「キャリア」に関する授業を受けたことがある学生に、授業を受けて得たものや身についたと思うものについて聞くと、「大学でのキャリアサポートの内容について」が42.1%で最も高く、「仕事のやりがいについて」が39.5%、「世の中にはどのような仕事があるのか」が38.2%と続いた。

### ■ 大学入学後「キャリア」に関する授業の受講経験 (全体／単一回答)



### ■ 「キャリア」に関する授業を受けて得たものや身についたと思うもの

(「キャリア」に関する授業を受けたことがある／複数回答)



## 就職活動の開始想定時期

就職志望者に就職活動を行う場合にいつ頃から始めることを想定しているか聞くと、「大学3年生4月」が22.7%で最も高い。「大学2年生3月以前」や「わからない」と回答した学生の割合も高く、「大学4年生4月以降」と回答した学生も約1割であった。

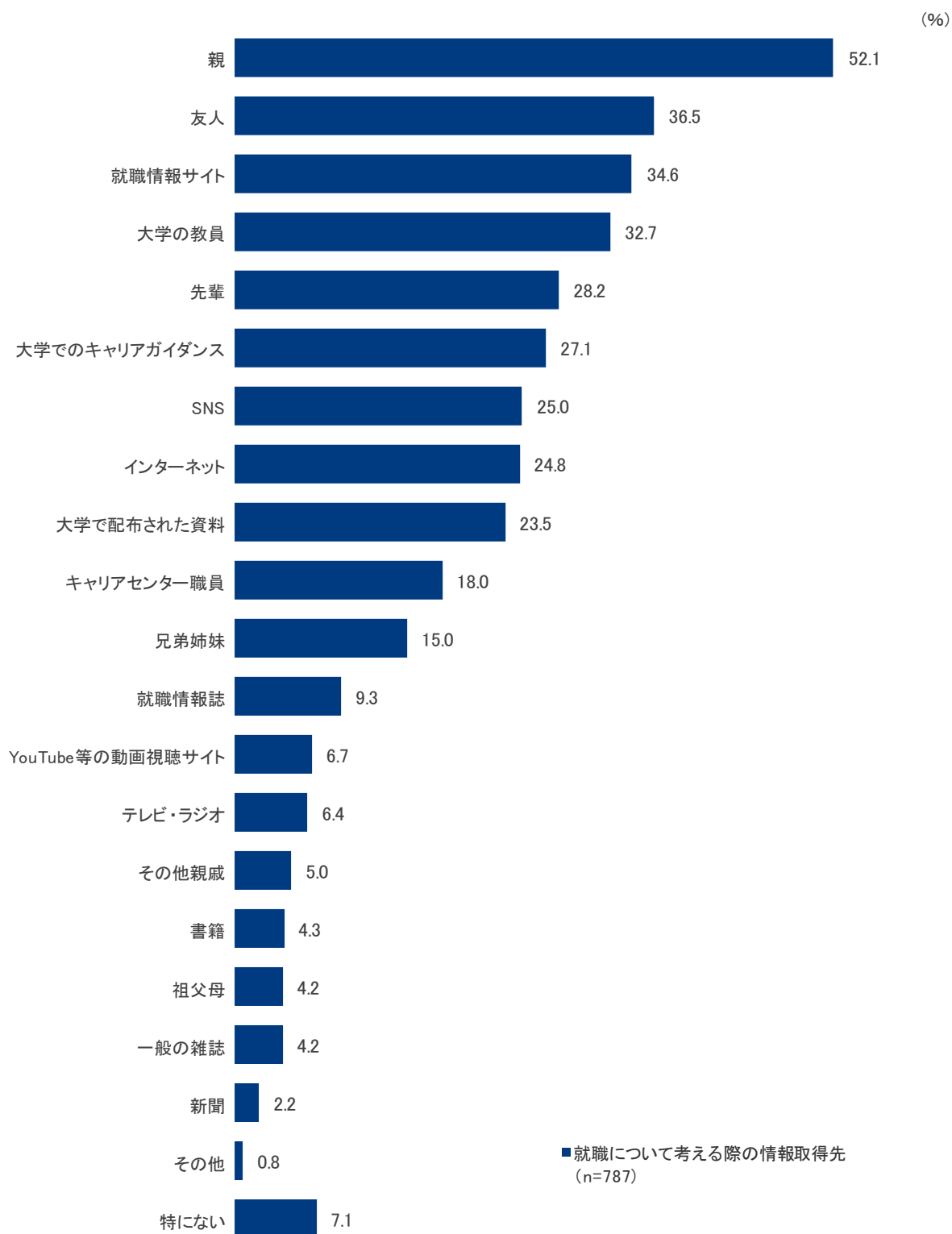
### ■ 就職活動の開始想定時期 (就職志望者/単一回答)

							(%)
	大学2年生 3月以前	大学3年生 4月	大学3年生 5月	大学3年生 6月	大学3年生 7月	大学3年生 8月	大学3年生 9月
n=787	13.3	22.7	5.6	7.6	7.1	7.2	2.9
	大学3年生 10月	大学3年生 11月	大学3年生 12月	大学3年生 1月	大学3年生 2月	大学3年生 3月	大学4年生 4月以降
n=787	2.2	0.6	1.1	2.4	0.6	0.6	9.5
	すでに 就職活動を 始めている	就職活動は 行わない 予定	わからない				
n=787	1.1	1.7	13.5				

## 「就職」について考える際の情報取得先

就職志望者に、「就職」のことを考えるときにどのようなところから情報を得ているか聞くと、「親」が52.1%で最も高い結果であった。「友人」が36.5%、「就職情報サイト」が34.6%、「大学の教員」が32.7%と続く。

### ■ 「就職」について考える際の情報取得先（就職志望者／複数回答）

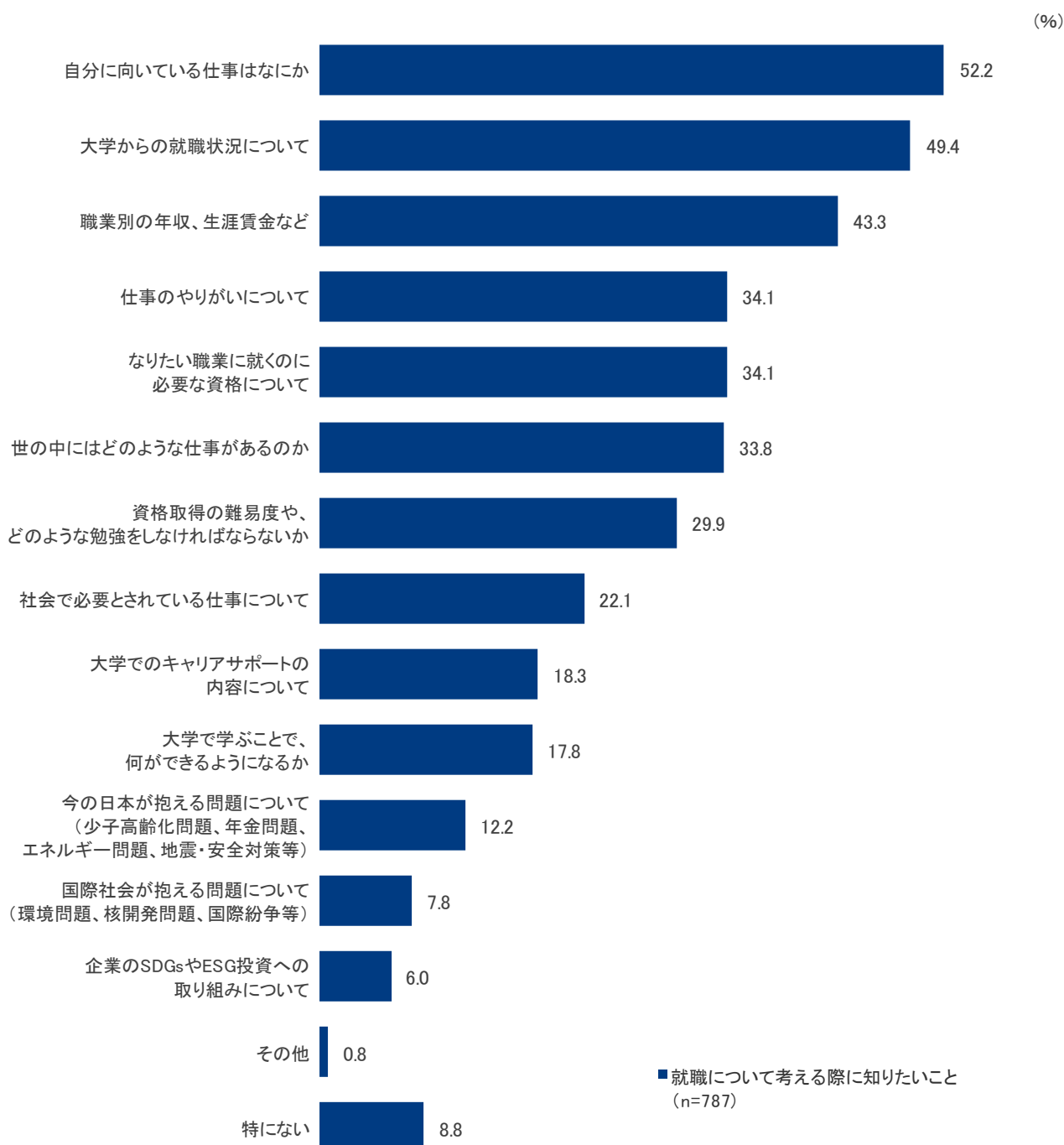




## 「就職」について考える際に知りたいこと

就職志望者に、「就職」のことを考えるときにどのようなことを知りたいと思うか聞くと、「自分に向いている仕事はなにか」が52.2%で最も高く、「大学からの就職状況について」「職業別の年収、生涯賃金など」が4割を超える結果であった。

### ■ 「就職」について考える際に知りたいこと（就職志望者／複数回答）

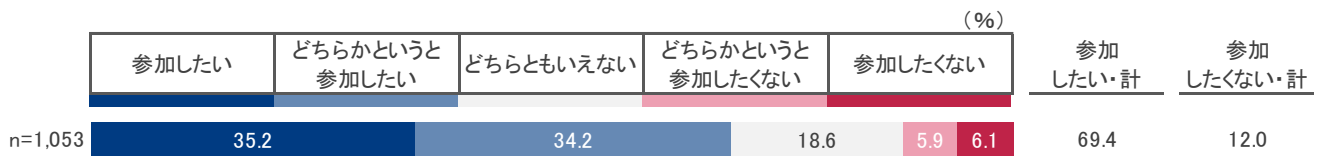


## インターンシップ・1day仕事体験のような就業体験への参加意向、参加したい理由

2022年入学の大学生に、大学3年生以降にインターンシップ・1day仕事体験のような就業体験に参加したいと思うか聞いたところ、「参加したい・計」が約7割であった。また、就業体験に参加したいと回答した学生に参加したい理由を聞くと、「就職活動に役立つ情報や経験を得るため」「就職活動をする上で有利になると思うため」「自分自身のキャリア観を明らかにするため」が5割を超える結果であった。

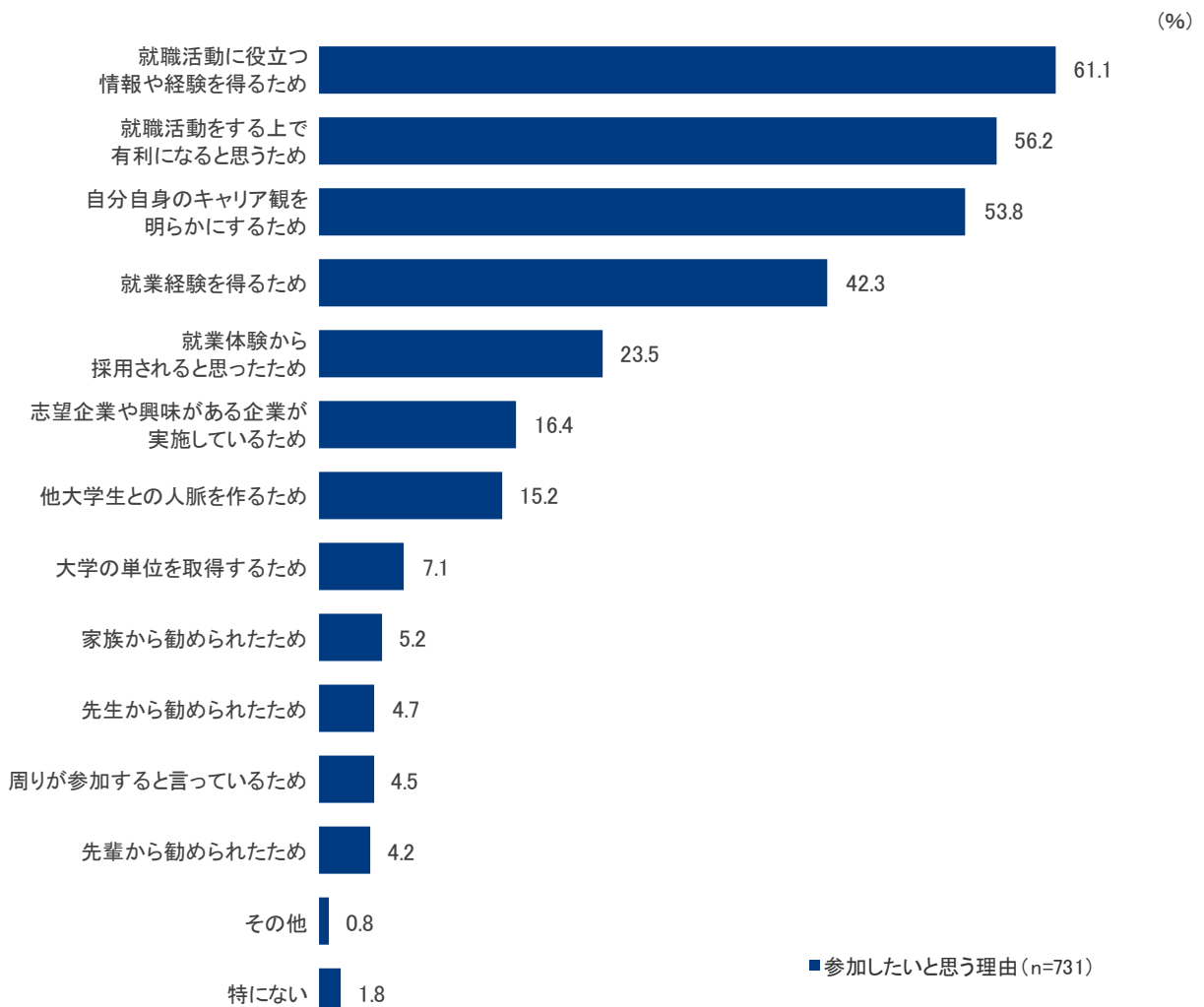
### ■ 大学3年生以降のインターンシップ・1day仕事体験のような就業体験への参加意向

(全体/単一回答)



### ■ インターンシップ・1day仕事体験のような就業体験へ参加したい理由

(インターンシップ・1day仕事体験のような就業体験へ参加したい/複数回答)



## インターンシップ・1day仕事体験のような就業体験への参加したくない理由

就業体験に参加したくないと回答した学生に、参加したくない理由を聞くと、「就業体験は面倒くさそうだと思うため」が27.8%で最も高い。「特にない」と回答した学生も26.2%と次に高い結果であった。

### ■ インターンシップ・1day仕事体験のような就業体験へ参加したくない理由

(インターンシップ・1day仕事体験のような就業体験へ参加したくない／複数回答)

(%)

